



平成 28 年 3 月 16 日

各 位

会社名 株式会社 オハラ  
 代表者名 代表取締役社長執行役員 齋藤 弘和  
 (コード番号 5218 東証第 1 部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 中島 隆  
 (T E L 042 (772) 2101 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 10 月期の業績予想につきまして、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 12 月 17 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 28 年 10 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想数値の修正

(平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期 純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,000	百万円 0	百万円 0	百万円 0	円銭 0.00
今回修正予想 (B)	10,600	△60	△70	△270	△11.10
増減 (B - A)	△400	△60	△70	△270	—
増減率 (%)	△3.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 10 月期第 2 四半期)	11,481	△59	385	325	13.40

(2) 平成 28 年 10 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 27 年 11 月 1 日～平成 28 年 10 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,000	百万円 600	百万円 770	百万円 370	円銭 15.21
今回修正予想 (B)	22,400	600	770	370	15.21
増減 (B - A)	△600	0	0	0	—
増減率 (%)	△2.6	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 10 月期通期)	22,820	538	1,316	545	22.43

## 2. 修正の理由

第2四半期累計期間の業績予想値につきましては、売上高は、光事業において、デジタルカメラ向け光学機器用レンズ材の需要は、減少率の縮小が見られるものの、底打ちの時期がずれ込む見込みであること及び、円高による換算差額が生じることなどから、前回予想を下回る見込みとなりました。また、損益は、第1四半期に、持分法適用会社において損失の発生が見込まれたことにより営業外費用（持分法による投資損失）を計上したことなどから、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が前回予想を下回る見込みとなりました。

通期の業績予想値につきましては、売上高は、エレクトロニクス事業において、露光装置向けの極低膨張ガラスセラミックスやカバーガラス向けの特殊ガラスの増加が見込まれますが、光事業においては、円高による換算差額の影響から、前回予想を下回る見込みとなりました。一方、損益は、光事業において、期後半に熔解工程の採算改善が見込まれること及び、エレクトロニクス事業において、特殊ガラスの生産性向上が見込まれることなどから、各段階利益は前回予想どおりといたしました。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上